



東京文化戦略 2030

芸術文化で躍動する都市東京を目指して

令和 7 年度 東京文化戦略2030 K P I 進捗調査（結果）

2026年5月

文化振興部
アーツカウンシル東京

【調査概要】

(1) 都民向け

調査対象：東京都内在住の15歳以上の男女個人
有効回答：6,000サンプル
抽出方法：インターネットを利用した調査（Webモニター調査）
調査期間：2025年10月27日（月）～11月10日（月）
※東京都生活文化局文化振興部にて実施

図表 都民向けアンケート対象者（属性別）

n ／ %	全体	センター・コア	区部東部・北部	区部西部・南部	多摩東部	多摩中央部北	多摩中央部南	多摩西部・島しょ
全体	6000 100.0	1408 23.5	1097 18.3	1704 28.4	743 12.4	233 3.9	712 11.9	103 1.7
10代	211 100.0	47 22.3	43 20.4	45 21.3	26 12.3	8 3.8	33 15.6	9 4.3
20代	764 100.0	226 29.6	130 17.0	191 25.0	78 10.2	20 2.6	103 13.5	16 2.1
30代	1014 100.0	267 26.3	183 18.0	290 28.6	109 10.7	47 4.6	99 9.8	19 1.9
40代	1009 100.0	251 24.9	195 19.3	293 29.0	117 11.6	33 3.3	98 9.7	22 2.2
50代	1082 100.0	258 23.8	203 18.8	306 28.3	139 12.8	33 3.0	133 12.3	10 0.9
60代	1112 100.0	212 19.1	220 19.8	339 30.5	157 14.1	46 4.1	126 11.3	12 1.1
70代以上	808 100.0	147 18.2	123 15.2	240 29.7	117 14.5	46 5.7	120 14.9	15 1.9

(2) 芸術文化団体等向け

調査対象：東京都在住もしくは都内で作品創作・練習、都内を
主な作品の発表場所としている芸術文化関連従事者
及び芸術文化団体等
有効回答：404サンプル
抽出方法：インターネットを利用した調査（Webオープン調査）
調査期間：2025年10月6日（月）～11月7日（金）
※公益財団法人 東京都歴史文化財団（アーツカウンシル東京）にて実施

図表 団体等向けアンケート対象者（属性別）

n ／ %	全 体	美 術、 文 学 等	映 画、 映 像	音 楽	演 劇、 ダ ン ス、 バ レ エ 等	伝 統 芸 能、 演 芸、 生 活 文 化 等	そ の 他 の 分 野
全体	404 100.0	60 14.9	8 2.0	124 30.7	140 34.7	52 12.9	20 5.0
10代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代	35 100.0	13 37.1	0 0.0	2 5.7	14 40.0	1 2.9	5 14.3
30代	71 100.0	13 18.3	2 2.8	15 21.1	36 50.7	0 0.0	5 7.0
40代	94 100.0	23 24.5	1 1.1	19 20.2	34 36.2	11 11.7	6 6.4
50代	101 100.0	9 8.9	5 5.0	42 41.6	26 25.7	18 17.8	1 1.0
60代	70 100.0	1 1.4	0 0.0	28 40.0	22 31.4	17 24.3	2 2.9
70代以上	33 100.0	1 3.0	0 0.0	18 54.5	8 24.2	5 15.2	1 3.0

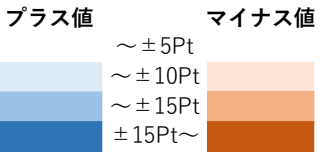
※10代はサンプル数が0のため、以降表示割愛。

【調査結果概要】

前回より増加	-5 ~10	【戦略3】⑪	国内外アーティスト等の活動場所に関する東京の評価	+5.0pt	(53.9%→58.9%)
		【戦略3】⑬	国内外の知名度・評価向上を重視している芸術文化団体・アーティストの割合	+5.2pt	(52.7%→57.9%)
前回より減少	-15~ -5 ~-10	【戦略1】①	若者の鑑賞割合	-17.8pt	(55.7%→37.9%)
		【戦略2】⑦	芸術文化が人々の想像力を豊かにする力があると考える人の割合	-5.7pt	(73.7%→68.0%)
		【戦略2】⑨	オンライン鑑賞割合	-7.5pt	(28.7%→21.2%)
		【戦略4】⑮	芸術文化団体・アーティスト等の今後の活動継続意向	-6.4pt	(81.4%→75.0%)

図表 東京文化戦略2030におけるKPI

スコア単位は記載なければ%



No		指標項目	R3年度 (2021年度)	R6年度 (2024年度)	R7年度 (2025年度)	各年度増減	
						R6-R3	R7-R6
戦略1	①	若者の鑑賞割合	21.8	55.7	37.9	33.9	-17.8
	②	鑑賞に関心があるが鑑賞していない人の割合	24.5	11.5	12.7	-13.0	1.2
	③	物理的な理由により鑑賞していない人の割合	9.3	9.8	10.7	0.5	0.9
	④	金銭的な理由により鑑賞していない人の割合	19.1	37.6	33.9	18.5	-3.7
	⑤	育児・介護の理由により鑑賞していない人の割合	14.8	10.2	6.6	-4.6	-3.6
戦略2	⑥	関心がある事業がなく鑑賞していない人の割合	16.5	16.3	16.6	-0.2	0.3
	⑦	芸術文化が人々の創造力を豊かにする力があると考える人の割合	71.4	73.7	68.0	2.3	-5.7
	⑧	オンラインが芸術文化鑑賞の入り口となっていると考えられる人の割合	2.3	8.8	6.8	6.5	-2.0
	⑨	オンライン鑑賞割合	12.4	28.7	21.2	16.3	-7.5
	⑩	アーティストと接する機会	14.4	12.9	12.2	-1.5	-0.7
戦略3	⑪	国内外アーティスト等の活動場所に関する東京の評価	48.3	53.9	58.9	5.6	5.0
	⑫	東京における国内外アーティスト等のネットワーキングの事業・インフラの充実度の評価	26.6	33.4	30.7	6.8	-2.7
	⑬	国内外の知名度・評価向上を重視している芸術文化団体・アーティストの割合	61.5	52.7	57.9	-8.8	5.2
	⑭	世界のアートマーケットにおいて存在感を示す現代アーティストの数	29人	31人	26人	2人	-5人
戦略4	⑮	芸術文化団体・アーティスト等の今後の活動継続意向	86.6	81.4	75.0	-5.2	-6.4
	⑯	アーティスト等による東京の制作環境の評価	36.4	38.9	42.3	2.5	3.4
	⑰	芸術を対象とした寄付をしたことがある・今後したい人の割合	20.0	23.5	22.7	3.5	-0.8
	⑱	芸術を対象としたボランティアをしたことがある・今後したい人の割合	20.5	21.2	21.0	0.7	-0.2
	⑲	Tokyo Contemporary Art Award受賞者の海外展覧会への出展数（累計）	-	9回	30回		+21回

KPI	指標	概要	R3	R6	R7
①	若者の鑑賞割合	都内在住の若者（19歳～25歳）が特定の芸術文化の分野※を文化施設等にて1年間に鑑賞・事業参加した割合 ※美術、音楽（オーケストラ等）、現代演劇等、バレエ・現代舞踊、伝統芸能	21.8%	55.7%	37.9%
			増減	+33.9	-17.8
②	鑑賞に関心があるが鑑賞していない人の割合	何らかの分野を鑑賞したり事業に参加することに関心はあるが、文化施設等にて1年間に鑑賞・事業参加しなかった都民の割合	24.5%	11.5%	12.7%
			増減	-13.0	+1.2
③	物理的な理由により鑑賞していない人の割合	芸術文化の鑑賞には関心があるが、「近くで展覧会・公演等を行っていないから」鑑賞しなかった都民の割合	9.3%	9.8%	10.7%
			増減	+0.5	+0.9
④	金銭的な理由により鑑賞していない人の割合	芸術文化の鑑賞には関心があるが、「入場料・交通費などの費用がかさみ負担だから」鑑賞しなかった都民の割合	19.1%	37.6%	33.9%
			増減	+18.5	-3.7
⑤	育児・介護の理由により鑑賞していない人の割合	芸術文化の鑑賞には関心があるが、「育児や介護を行っているので行くことが難しいから」鑑賞しなかった都民の割合 ※15歳以下の子あり・介護ありの方	14.8%	10.2%	6.6%
			増減	-4.6	-3.6

KPI	指標	概要	R3	R6	R7
⑥	関心がある事業がなく鑑賞していない人の割合	芸術文化の鑑賞には関心があるが、「関心がある展覧会・公演等がなかったから」鑑賞しなかった都民の割合	16.5%	16.3%	16.6%
			増減	-0.2	+0.3
⑦	芸術文化が人々の創造力を豊かにする力があると考える人の割合	芸術文化が「人々の創造力を豊かにさせること」に重要な役割を持つと考える都民の割合	71.4%	73.7%	68.0%
			増減	+2.3	-5.7
⑧	オンラインが芸術文化鑑賞の入り口となっていると考えられる人の割合	特定の芸術文化の分野※の鑑賞に関心はないが、オンラインで1年間これらの分野を鑑賞した都民の割合 ※美術、音楽（オーケストラ等）、演劇（現代演劇等）、バレエ・現代舞踊、伝統芸能	2.3%	8.8%	6.8%
			増減	+6.5	-2.0
⑨	オンライン鑑賞割合	特定の芸術文化の分野※をオンラインで1年間に鑑賞した都民の割合 ※上記と同様	12.4%	28.7%	21.2%
			増減	+16.3	-7.5
⑩	アーティストと接する機会	芸術家・アーティストと直接会話したり・接したりする機会があると考える都民の割合（「しばしばある」＋「たまにある」の合計）	14.4%	12.9%	12.2%
			増減	-1.5	-0.7

KPI	指標	概要	R3	R6	R7
⑪	国内外アーティスト等の活動場所に関する東京の評価	東京は国内外のアーティスト・芸術関係者が積極的に集まり、活動したいと思う場所となっていると考えるアーティスト・従事者の割合（「なっている」＋「どちらかというとなっている」の合計）	48.3%	53.9%	58.9%
			増減	+5.6	+5.0
⑫	東京における国内外アーティスト等のネットワークングの事業・インフラの充実度の評価	東京は国内外のアーティスト・芸術関係者同士がネットワークングを行うための環境が整っていると思うアーティスト・従事者の割合（「整っている」＋「どちらかというと整っている」の合計）	26.6%	33.4%	30.7%
			増減	+6.8	-2.7
⑬	国内外の知名度・評価向上を重視している芸術団体・アーティストの割合	芸術文化に関する活動・仕事を行うにあたって「団体・個人や作品の知名度の向上」、「国内外の専門家・関係者からの評価の向上」を重視している団体・アーティストの割合	61.5%	52.7%	57.9%
			増減	-8.8	+5.2
⑭	世界のアートマーケットにおいて存在感を示す現代アーティストの数	世界のオークション市場において、年間の落札額がトップ 500 位（1945 年以降生まれのアーティスト）までに含まれる日本生まれのアーティストの数 Artprice 「The ContemporaryArt Market Report」	29人	31人 ※1	26人 ※2 参考値
			増減	+2	-5

※1…R 6 報告書の数値（30人）を訂正

※2…出典レポートにおいて出生国の記載がなくなったため、当該数値は出典レポートのデータを参照し独自に集計

KPI	指標	概要	R3	R6	R7
⑮	芸術文化団体・アーティスト等の今後の活動継続意向	今後の芸術文化に係る活動を継続したいと考える団体・アーティスト等の割合 （「できるだけ継続したい」を選択した割合）	86.6%	81.4%	75.0%
			増減	-5.2	-6.4
⑯	アーティスト等による東京の制作環境の評価	芸術文化の創作や実演を行う際の東京都の環境 （創作・練習場所、発表場所の充実度等）が整っていると考えるアーティスト・従事者の割合	36.4%	38.9%	42.3%
			増減	+2.5	+3.4
⑰	芸術を対象とした寄付をしたことがある・今後したい人の割合	【芸術文化施設】【芸術家・アーティスト】【芸術文化の事業・イベント】【芸術文化団体】のいずれかの対象に「寄付をしたことがある」・「寄付をしたことがないが、今後は寄付をしたい」都民の割合	20.0%	23.5%	22.7%
			増減	+3.5	-0.8
⑱	芸術を対象としたボランティアをしたことがある・今後したい人の割合	同上の対象にボランティアを「経験したことがある」・「経験したことがないが、今後は経験したい」都民の割合	20.5%	21.2%	21.0%
			増減	+0.7	-0.2
⑲	Tokyo Contemporary Art Award受賞者の海外展覧会への出展数（累計）	本受賞者が支援終了後に海外展覧会へ出展した数	—	9回	30回
			増減	—	+21回